

文化会館駐車場 無料化へ



小田桐たかし

日本共産党市議会議員

事実を示し、有料化撤回を一貫して求める

わが党は、条例改正（H20年3月議会）に反対し、その後も駐車場有料化に伴う機械リース負担が収入よりも多く、收支で赤字が生じている実態や、「中央公民館の利用が有料化前と比べて37%も減少している」「会議室等の稼働率では、他の公民館は9割前後に対し、文化会館と一緒に中央公民館は5割台」と実態を告発し、有料化撤回を求めてきました。



赤字400万円

文化会館駐車場が今年10月から無料化されることに。市民の世論と運動が市政を動かした、貴重な成果です。
H20年10月から導入された駐車場有料化には、直後から、利用者の苦情が相次いでいました。

導入から有料化廃止となる今年9月31日までの見込みとして、収入は1780万円、支出は2193万円（リース・保守等）。総額約400万円の赤字となります。

今後、再リースをした場合、経費が大幅に少なくなるものの、有料化中止の理由について、副市長は「他の公民館との稼働率に差が生じている」等、政策的判断と説明しました。

市民の世論と運動が 政治を動かした